

まんようかひ
万葉歌碑



万葉歌碑は、県立みかも山公園南口の東、^{ふもと}麓の^{みかもじんじゃ}三毳神社境内にあります。

「^{しもつけのみかも}下野野美可母の^{こなら}山の小櫓の
すまぐは^こし^た児ろは^け誰が^{きざ}筥か持たむ」

(万葉集卷十四・3424)が^{きざ}刻ん

であります。

「^{みかも}しもつけの三毳山の小櫓のようにかわいらしく美しい娘は、一体誰の筥（食物の器）を持つのだろう。」すなわち誰の^{つま}妻になるのだろうという^{そぼく}素朴な恋心、^{いつわ}偽りのない思いを読み、ほのぼのとした^{きひん}気品のある^{そぼく}素朴な愛の歌です。（「ふじおか見てある記」藤岡町教育委員会から）